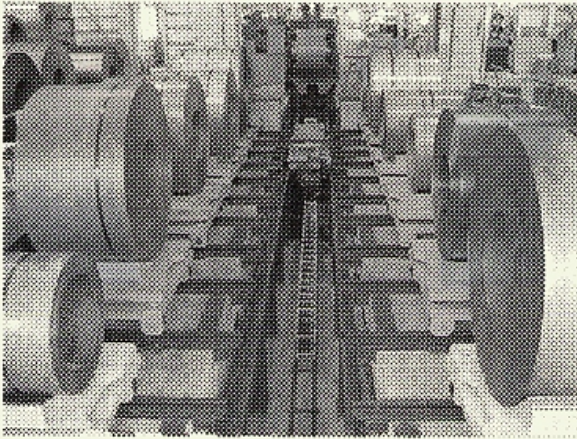


根津鋼材 長沼事業所



コイル搬入台車

有力コイルセンタ―の根津鋼材（本社・東京都荒川区）は、東北事業部／長沼事業所（福島県須賀川市、事業部長・永



永山事業部長

山良久取締役）のスリッターラインにおける「入り側（母材搬入側）」を完全無人化した。ラインへの母コイルの搬入・搬出および巻き戻しコイルの結束作業を

コイルの搬入
結束を自動化

物流、大幅改善

スリッター「入り側」を無人化

自動化したことによる。ライン全体で1名分の省人化につながり、マンパワーを適所にシフトできるほか生産効率（構内物流）の大幅な改善にも寄与する。今回、母材ヤードに12個の子台車を連動させたコイル搬入台車を設置した。生産工程に合わせて事前に最大12コイルまでセットできる。スリッターライン

のアンコイラ（母材搬入装置側）には自動搬入され、コイル巻き戻しが発生すれば、巻き戻したコイルの結束も自動で行う。長沼事業所では1直シフトの場合で1日平均24コイル（午前12個／午後12個）を加工する。朝と昼に1回ずつコイルをセットすれば、その後のコイル搬入は無くなりクレール

作業も不要。巻き戻しコイルも自動結束され、再び子台車に自動で戻るので、アンコイラより手前の「入り側」は完全無人状態での作業となる。

この「自動アンコイラ装置」は、業界でも先駆けに位置する自動化システム。今夏にコイル搬入部分が完成し、先週末に自動結束装置が導入され今週から操業がスタートした。一連の作業指示は独自の生産管理システムによって行われ、事務所―現場間LANで操作される。

基礎工事も含めた総投資額は約6千万円。効果が検証できれば、他拠点への応用も検討していく。